

「ホワイト物流」推進運動

持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
丸全運輸株式会社	代表取締役社長	大島 冴子	福岡県	運輸業, 郵便業	http://maruzen-express.co.jp/

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	2020年1月10日
-------	------------

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A ③	パレット等の活用	・長距離輸送時のパレット及びカゴ台車による輸送により、運転手への負担軽減に努めます。
2	A ⑪	高速道路の利用	・積荷時の高速利用により、運転手への負担を軽減すると共に、労働時間の短縮に努めます。
3	D ①	荷役作業時の安全対策	・荷役作業を行う際の安全対策について社員教育を行い、添乗指導・管理責任者との現場視察を行います。
4	D ②	異常気象時等の運行の中止・中断等	・台風、豪雨、豪雪等の異常気象が発生した際やその発生が見込まれる際には、無理な運送依頼を行いません。また、運転者の安全を確保するため、運行の中止・中断等が必要と物流事業者が判断した場合は、その判断を尊重します。
5	F ①	事務所の24時間稼働化	・事務所の24時間稼働により、始業・終業・中間点呼を確立化し、点呼時に運転手の体調確認に努め、安全第一を優先とし運行の中止が必要な場合は、それを尊重します。
6	F ②	最新車両の導入	・最新車両の導入により、自動ブレーキや安全装置の付いたトラックに順次入替えを行い、運転手への負担軽減に努めます。
PR欄			<p>・当社は、創業55周年を迎えました。</p> <p>全車両バックアイモニター・ドライブレコーダーを装着し、弊社構内に大型車両対応洗車機や自社給油所を設置し運転手への負担軽減・車両美化に努めています。また、眠室・休憩室・喫煙室・シャワー室も完備し、ドライバーの皆様の職場環境の向上に努めています。</p>